

經濟論叢

第139卷 第1号

菱山泉教授記念號

献 辞	池 上 惇	
經濟表のプロブレマティーク	平 田 清 明	1
ロックにおける貨幣数量説のミクロ的基礎	根 岸 隆	22
関係レントとその分配交渉	浅 沼 萬 里	39
消費者余剰とローザンス学派	山 下 博	61
均斉成長の不均衡動学分析	山 谷 恵 俊	82
機械化と労働雇用	塩 沢 由 典	109
1930年代の經濟学再考	伊 東 光 晴	130
資本の限界効率と使用者費用	瀬地山 敏	156

菱山 泉 教授 略歴・著作目録

昭和62年1月

京 都 大 學 經 濟 學 會

菱山 泉 教授 略歴

- 大正12 (1923) 年 8 月 1 日 東京に生まれる
- 昭和13 (1938) 年 3 月 兵庫県立第一神戸中学校 2 年修了
- 昭和16 (1941) 年 3 月 広島陸軍幼年学校卒業
- 昭和19 (1944) 年 4 月 陸軍士官学校卒業
- 昭和21 (1946) 年 4 月 京都帝国大学経済学部入学
- 昭和24 (1949) 年 3 月 京都大学経済学部卒業
- 昭和24 (1949) 年 4 月 京都大学大学院(経済学部) 入学
- 昭和29 (1954) 年 2 月 同大学院特別研究生修了
- 昭和29 (1954) 年 3 月 京都大学講師 経済学部勤務
- 昭和29 (1954) 年 4 月 同志社大学経済学部非常勤講師(昭和43年3月まで)
- 昭和32 (1957) 年11月 京都大学助教授 経済学部勤務
- 昭和35 (1960) 年 9 月 愛媛大学文理学部非常勤講師(集中講義)
- 昭和36 (1961) 年 9 月 愛媛大学文理学部非常勤講師(同上)
- 昭和37 (1962) 年 3 月 「重農学説と経済表の研究」により経済学博士号を取得
- 昭和38 (1963) 年 4 月 京都大学大学院経済学研究科担当
- 昭和42 (1967) 年 2 月 京都大学教授 経済学部勤務 経済原論担当
- 昭和43 (1968) 年 4 月 京都工芸繊維大学非常勤講師(経済学: 昭和44年3月まで)
- 昭和43 (1968) 年 7 月 香川大学経済学部非常勤講師(経済学史 集中講義)
- 昭和44 (1969) 年 3 月 連合王国, フランス, ドイツ連邦共和国, イタリアに出張
(おもに, senior visitor として招かれたケンブリッジ大学経済学部に滞在。昭和45年4月まで)
- 昭和45 (1970) 年 7 月 京都大学評議員(昭和48年3月まで)
- 昭和47 (1972) 年 5 月 京都大学経済学部長(昭和48年1月まで)
- 昭和48 (1973) 年 1 月 京都大学大学院審議会審議委員(昭和48年3月まで)
- 昭和50 (1975) 年 1 月 京都大学学生部委員会委員(昭和50年9月まで)
- 昭和52 (1977) 年 1 月 京都大学経済学部長(昭和52年9月まで)
京都大学評議員(昭和52年9月まで)
- 昭和53 (1978) 年 4 月 神戸大学経済学部非常勤講師(経済学史特殊講義 昭和54年3月まで)
- 昭和54 (1979) 年 4 月 大阪大学経済学部非常勤講師(経済学史 昭和55年3月まで)

昭和54 (1979) 年 7 月

京都大学国際交流委員会委員 (昭和56年 6 月まで)

昭和56 (1981) 年 4 月

フランス, スイス, イタリア, 連合王国等に短期出張 (昭和56年 5 月まで)

昭和57 (1982) 年 1 月

京都大学評議員 (昭和59年 7 月まで)

京都大学大学院審議会審議委員 (昭和59年 1 月まで)

菱山 泉 教授 著作目録

I 編 著 書

重農学説と『経済表』の研究	有 信 堂	1962年 7月
近代経済学の歴史——マーシャル・ピグー・ ロバートソン・ケインズ	有 信 堂	1965年12月
経済学史(セミナー経済学教室2) 杉原四郎共編	日 本 評 論 社	1974年 7月
経済原論(現代社会科学叢書) 溝川喜一共編	春 秋 社	1976年 6月
限界革命の経済思想(経済思想史3)〔編著〕	有 斐 閣	1977年 4月
教養の経済学——マルクス経済学と 近代経済学の基礎 宮本義男共編	有 斐 閣	1978年12月
リカード(経済学者と現代2)	日 本 経 済 新 聞 社	1979年 1月

II 訳 書

ケネー全集 第1～3巻 島津亮二共訳	有 斐 閣	1951年 7月～ 1952年11月
経済学における古典と近代——新古典学派の検討 と独占理論 P.スラッファ著 田口芳弘共訳	有 斐 閣	1956年10月
商品による商品の生産——経済理論批判序説 P.スラッファ著 山下博共訳	有 斐 閣	1962年11月
同 上(復刊)	有 斐 閣	1978年 5月
貨幣的分析の基礎——ヴィクセルからケインズまで J.マルシャル, J.ルカイヨン著	ミネルヴァ書房	1978年 1月
生産理論——ポスト・ケインジアン <small>の</small> 経済学 L.L.パシネッティ著 山下博他共訳	東洋経済新報社	1979年 5月

III 論 文

ケネー学説における政策的背景(1) ——ケネー学説研究への序説	経 済 論 叢 第69巻第3/4号	1952年 3月
国際的観点からみたケネー学説の生成 とその政策的含意——ケネー学説に おける政策的背景(2)	同 上 第70巻第 3号	1952年 9月
フォルボネとケネー	同 上 第72巻第 1号	1953年 7月
フジオクラートと古典学派(1) ——その思想的・理論的一研究	同 上 第72巻第 5号	1953年11月
新古典派理論における収益逓増法則	同 上 第82巻第 5号	1958年11月

ケネーの『経済表』——その分析・再構成・応用	『京都大学経済学部創立四十周年記念経済学論集』	1959年5月
外部節約の箱(1)	経済論叢 第83巻第5号	1959年5月
同上(2)	同上 第83巻第6号	1959年6月
近代経済学の歴史(1) アルフレッド・マーシャル(1)	経済セミナー 第49号	1960年10月
近代経済学の歴史(2) アルフレッド・マーシャル(2)	同上 第50号	1960年11月
近代経済学の歴史(3) ビグーと厚生経済学	同上 第51号	1960年12月
重農主義	『経済学史』岸本誠二郎編 青林書院	1960年12月
近代経済学の歴史(4) ケンブリッジ学派の景気変動論	経済セミナー 第52号	1961年1月
近代経済学の歴史(5) ロバートソン	同上 第53号	1961年2月
近代経済学の歴史(6) J. M. ケインズ	同上 第54号	1961年3月
重農主義	『原典経済学史』堀経夫編 創元社	1961年5月
スラッフの分析と一般均衡理論	経済論叢 第89巻第3号	1962年3月
大規模生産と市場均衡	『経済学における古典と現代 岸本誠二郎博士選歴記念論文 集』日本評論社	1965年7月
「経済表」と産業連関モデル ——拡大再生産表式にかんする ネムチノフの論文に対するノート	経済論叢 第96巻第5号	1965年11月
近代経済学における自由放任の思想	思想 第506号	1966年8月
自由放任思想の古典性と現代性	経済セミナー 第126号	1966年10月
ケインズ経済学研究序説 ——経済人の決意と不確実性	経済論叢 第98巻第6号	1966年12月
重農主義	『経済学史』小林昇編 有斐閣	1967年2月
ケインズにおける不確実性の論理	思想 第514号	1967年4月
貨幣理論における投資・貯蓄接近法	経済論叢 第100巻第3号	1967年9月
ケインズの投資理論における「経済人」	思想 第519号	1967年9月
ケインズの貨幣と不確実性の論理	思想 第526号	1968年4月
ケンブリッジ学派；近代経済学の 現代的展望	『経済学史入門』出口勇藏編 有斐閣	1969年10月
ケネー	『近代経済学(s) 近代経済学史』 熊谷尚夫他編 有斐閣	1970年2月
重農学派における貯蓄論争	経済論叢 第107巻 第4/5/6号	1971年6月
資本と分配の理論について	同上 第109巻第1号	1972年1月

ケネー経済表——経済循環の発見	『経済学の名著12選』 玉野井芳郎他編 学陽書院	1973年12月
新古典派体系の成立条件	『経済思想の辞典』 住谷一彦・伊東光晴編 有斐閣	1975年10月
現代経済学の解明(1) 不変の価値尺度の問題と一般的剰余理論	経済セミナー 第252号	1976年1月
現代経済学の解明(2) ケインズの測定の問題と古典派総合	同 上 第253号	1976年2月
現代経済学の解明(3) スラッファの命題とケンブリッジ資本論争	同 上 第254号	1976年3月
現代経済学へのスミスの貢献	東洋経済 第3922号	1976年2月13日
A. ロンカリアのヴィトゲンシュタインとスラッファの関係に関する所説についての一試論	経済論叢 第118巻第5/6号	1976年12月
[鼎談] サミュエル・ホランドー, 岡田純一: 古典派経済学と現代	東洋経済 第3998号	1977年4月8日
マーシャルとスラッファ	経済セミナー 第282号	1978年7月
二者択一的な価値の理論	国民経済雑誌 第138巻第3号	1978年9月
アルフレッド・マーシャル	『経済思想史読本』水田洋他編 東洋経済新報社	1978年11月
マーシャルと時間	経済セミナー 第313号	1981年2月
恩師岸本誠二郎先生を偲ぶ	経済学史学会年報 第21号	1983年11月
追悼ピエロ・スラッファ	経済セミナー 第347号	1983年12月
マルタス管見	経済論叢 第137巻第3号	1986年3月
重農主義	『新版経済学史』小林昇・ 杉原四郎編 有斐閣	1986年8月

IV 欧文論文

Law of increasing returns in the neo-classical theory.	<i>Kyoto University Economic Review</i>	Vol. 28, No. 2 Oct. 1958
The <i>Tableau Economique</i> of Quesnay—Its analysis, reconstruction, and application.	<i>Kyoto University Economic Review</i>	Vol. 30, No. 1 Apr. 1960
The logic of uncertainty according to J. M. Keynes.	<i>Kyoto University Economic Review</i>	Vol. 39, No. 1 Apr. 1969
	Reprintd in : J. C. Wood, ed., <i>John Maynard Keynes: Critical Assesment</i> . Vol. 1.	Croom Helm, 1983.
On the theories of capital and distribution.	<i>Kyoto University Economic Review</i>	Vol. 41, No. 2 Oct. 1971
Il <i>Tableau Economique</i> di Quesnay : analisi, ricostruzione ed applicazione.	in: <i>Dibattito sulla fisiocrazia</i> . A cura di G. Candela e M. Palazzi, La Nuova Italia,	1969.

- Quesnay's *Tableau Economique* and interindustry model. Note on Nemchinov's article about reproduction scheme. *Kyoto University Economic Review* Vol. 56, No. 1 Apr. 1986

V 辞典類

- 経済学事典 (執) 重農主義など 平凡社 1954年
 世界大百科事典 (執) ケネーなど 平凡社 1955~58年
 体系金融大辞典 (執) 経済表, 再生産表式 東洋経済新報社 1966年
 学習百科大事典 (執) ヱイクセル, 完全雇用など 保育社 1967年
 社会科学大事典 (執) ケインズ (J. N.), ケンブリッジ学派, ロバートソンなど 鹿島研究所出版会 1968~71年
 ブリタニカ国際大百科事典 (執) ケインズ TBSブリタニカ 1975年
 経済学辞典第2版 (執) 外部経済・内部経済 岩波書店 1979年
 経済学大辞典第2版 編集・(執) 新古典派経済学 東洋経済新報社 1980年

VI 書評

- 久保田明光『現代フランス経済学』 東洋経済新報社 図書新聞 1957年6月29日
 平田清明『経済科学の創造——「経済表」とフランス革命』 岩波書店 経済研究 第17巻第2号 1966年4月
 大谷政敬『経済学の基本問題』 ミネルヴァ書房 産業経済論叢 第3巻第2号 1968年11月
 宮崎義一『近代経済学の史的展開』 有斐閣 1967年 経済学史学会年報 第6号 1968年11月
 小泉明・宮沢健一編『ケインズ一般理論研究』全3巻 筑摩書房 1970年 週刊東洋経済 第3575号 1971年1月16日
 Maurice Dobb, *Theories of Value and Distribution since Adam Smith.* 経済論叢 第112巻第6号 1973年12月
 玉野井芳郎・柏崎利之輔編『近代経済学の系譜』日本経済新聞社 エコノミスト 第54巻第34号 1976年8月3日
 安井琢磨『経済学とその周辺』木鐸社 1979年 日本読書新聞 1979年12月24日
 A. Mátyás, *History of Modern non-Marxian Economics*, Budapest 1980 経済学史学会年報 第22号 1984年11月

(なお, V, VIは実物確認したものを掲載しました。……調査資料室 細川元雄)